

Dell SE2417HGX Dellディスプレイマネージャー ユーザーガイド

モニターモデル：SE2417HGX
規制モデル：SE2417HGxc



 **注意：注意は、コンピュータをより使いやすくするための重要な情報を示します。**

Copyright © 2019 Dell Inc. またはその子会社。 All rights reserved. Dell、EMC、および、他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。 他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2019 - 09

Rev. A00

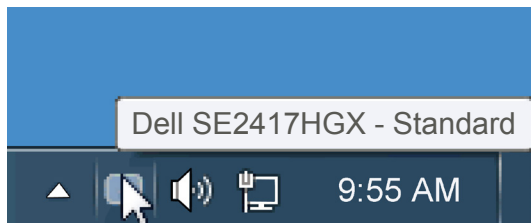
目次

概要	4
クイック設定ダイアログの使用.....	5
ベーシックディスプレイ機能の設定	6
アプリケーションへのプリセットモードの割り当て	7
簡単な配列で Windows を整理する	8
複数のビデオ入力の管理	10
アプリケーション位置の復元.....	11
省エネルギー機能の適用	13
トラブルシューティング	14



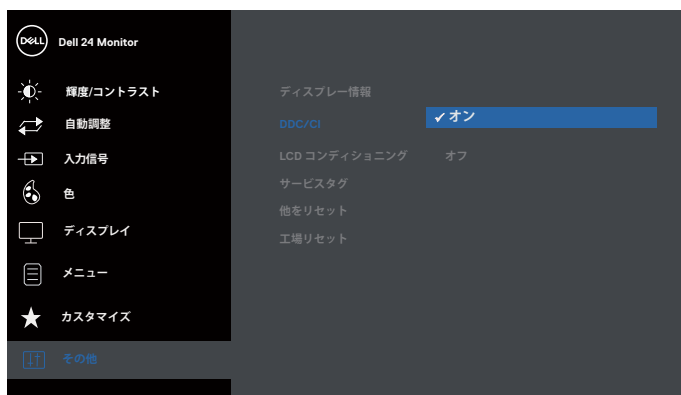
概要

Dell Display Managerは1台のモニターまたはモニターのグループを管理するために使うWindowsアプリケーションです。表示された画像の手動調整、自動設定の割り当て、エネルギー管理、画像の回転、選択されたDellモデルのその他の機能を可能にします。一度インストールすると、システム開始時に毎回Dell Display Managerが起動し、通知トレイにアイコンが置かれます。この通知トレイアイコンの上にマウスを置くと、システムに接続されたモニターの情報がいつでも得られます。



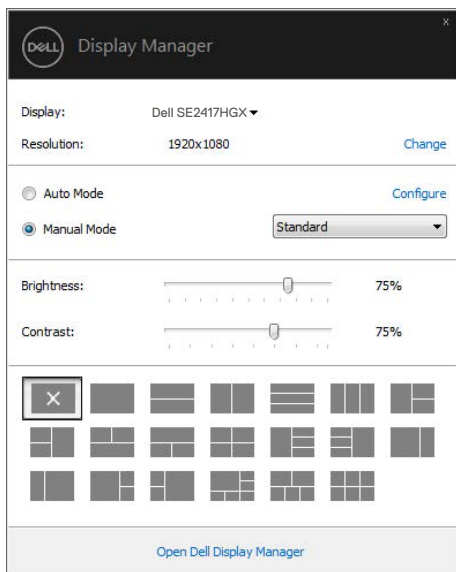
ウィンドウはカスタムレイアウトとして保存され、カスタムレイアウトアイコンが作成されます。

注意: Dellディスプレイマネージャーでは、お使いのモニターと通信するためにDDC/CIチャンネルを使用します。DDC/CIを以下のようにメニューで有効にしてください。



クイック設定ダイアログの使用

Dell Display Managerの通知トレイアイコンをクリックすると、クイック設定ダイアログボックスが開きます。2台以上のサポートされたDellモデルがシステムに接続されている場合、メニューを使用して特定のターゲットモニターを選択できます。クイック設定ダイアログボックスでは、モニターの輝度とコントラストレベルを便利に調整でき、プリセットモードを手動で選択するか、オートモードに設定し、システムの解像度を変更することができます。



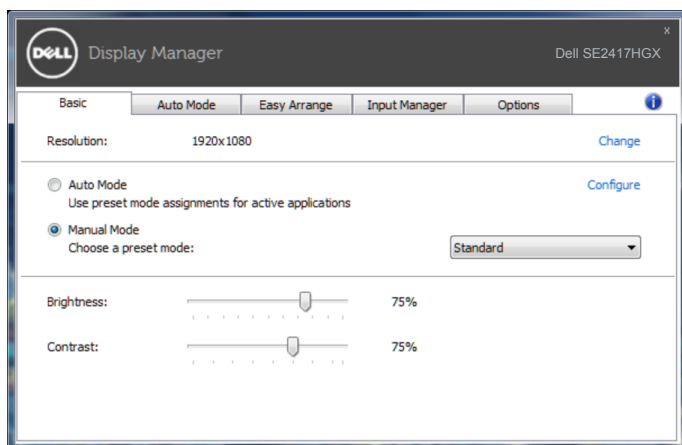
クイック設定ダイアログボックスはまた、Dell Display Managerのアドバンスドユーザーインターフェイスへのアクセスを提供し、ベーシック機能の調整、オートモードの設定、その他機能へのアクセスに使用されます。



ベーシックディスプレイ機能の設定

選択したモニターのプリセットモードをベーシックタブ上のメニューを使用して、手動で適用することができます。その他、オートモードも有効にできます。オートモードは、特定のアプリケーションがアクティブになったときに自動的に適用されるようにプリセットモードになります。モード変更の度に、一時的に現在のプリセットモードが画面上に表示されます。

選択されたモニターの輝度およびコントラストは、ベーシックタブからも直接調整できます。

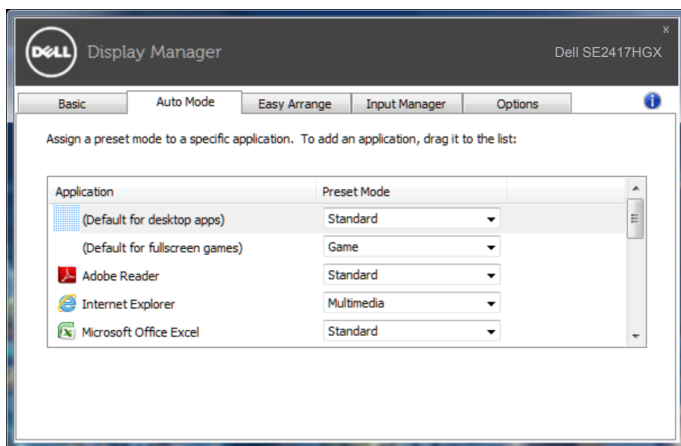


アプリケーションへのプリセットモードの割り当て

オートモードタブでは、特定アプリケーションに特定のプリセットモードを割り当てて、自動的に適用することが可能です。オートモードが有効な場合、Dell Display Managerは関連するアプリケーションがアクティブであれば、常に対応するプリセットモードに自動的に切り替わります。特定のアプリケーションに割り当てられたプリセットモードは、接続されているモニターすべてで同じ場合も、そのプリセットモードがモニターごとに1つずつ異なる場合もあります。

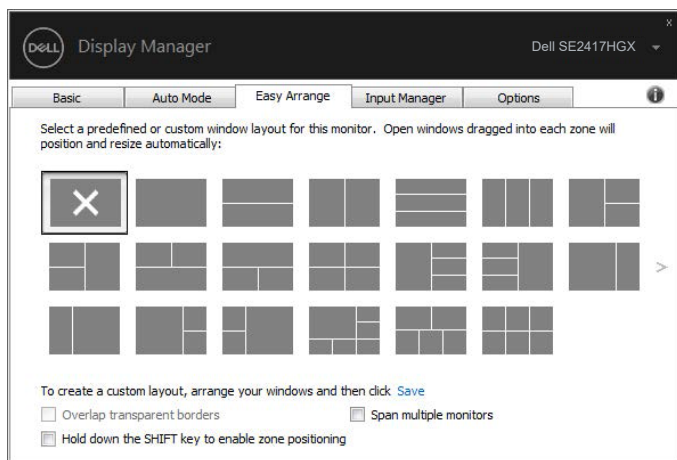
Dell Display Managerは多くの有名なアプリケーション用に事前設定されています。割り当てリストに新規アプリケーションを追加するには、デスクトップデスクトップ、Windowsの[スタート]メニューまたは他のどこからかアプリケーションをドラッグして現在のリストの上にドロップします。

注意: バッチファイル、スクリプト、ローダー、およびzipアーカイブや圧縮されたファイルのような、非実行ファイルをターゲットとするプリセットモード割り当ては無効となります。



簡単な配列で Windows を整理する

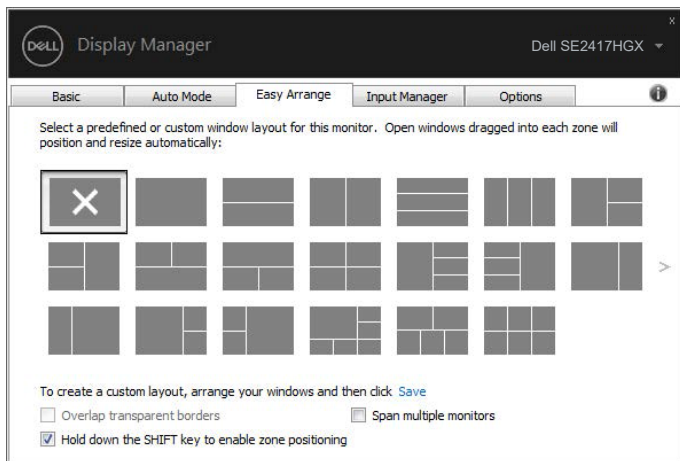
Easy Arrange (簡単な配列) により、デスクトップ上のアプリケーションウィンドウを効果的に整理できます。まず作業に適する事前定義済レイアウトパターンを選択し、次にアプリケーションウィンドウを定義済ゾーンにドラッグしてください。その他のレイアウトを検索するには、「>」を押すか、Page Up/Page Downキーを使用してください。カスタムレイアウトを作成するには、開いているウィンドウを配列し、次に、**Save (保存)** をクリックしてください。



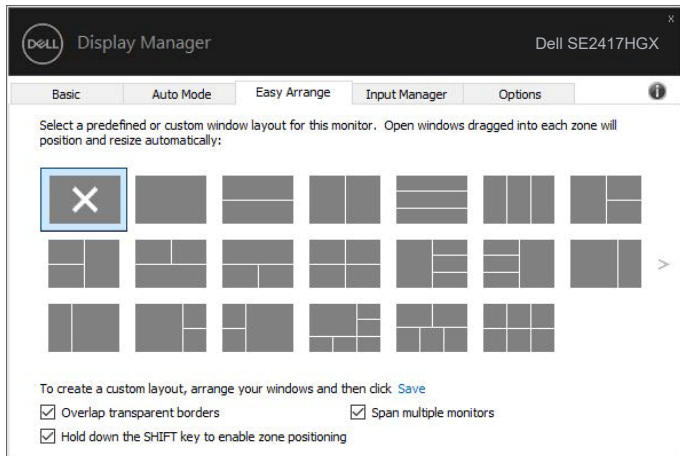
Windows 10の場合、異なるウィンドウレイアウトを各仮想デスクトップに適用できます。

Windowsスナップ機能を頻繁に使用する場合は、「**Hold down the SHIFT key to enable zone positioning (シフトキーを押しながらゾーン位置調整を有効にする)**」を選択してください。これにより、Windowsスナップの優先度が**Easy Arrange (簡単な配列)**よりも高くなります。その後、**Easy Arrange (簡単な配列)** 位置調整を使用する場合は、シフトキーを押してください。





複数台のモニターをアレイまたはマトリクスで使用している場合、**Easy Arrange (簡単な配列)** レイアウトを1つのデスクトップしてすべてのモニターに適用できます。「**Span multiple monitors (複数モニターに及ぶ)**」を選択し、この機能を有効にしてください。この機能を効果的に使用するために、モニターを適切に整列してください。

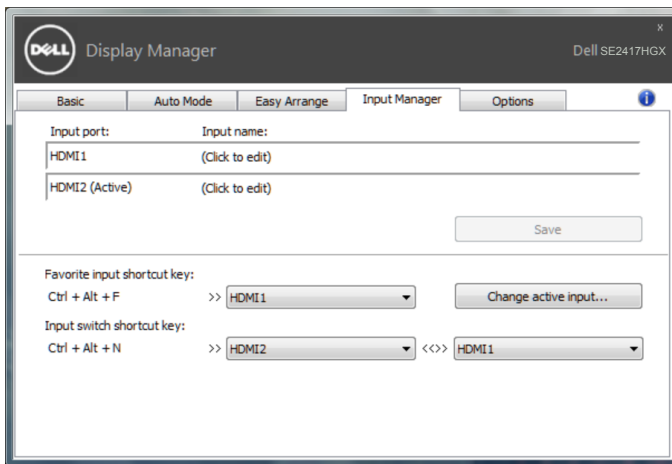


複数のビデオ入力の管理

Input Manager (入力マネージャー) タブでは、Dellモニターに接続されている複数のビデオ入力を便利な方法で管理できます。複数のコンピュータを使用しているとき、入力を簡単に切り替えられます。

モニターで利用できるすべてのビデオ入力が一覧表示されます。必要に応じて、各入力に名前を付けられます。編集後、変更内容を保存してください。

お気に入りの入力に簡単に切り替えるためのショートカットキーを定義できます。2つの入力で頻繁に作業する場合、その2つの入力を簡単に切り替えるためのショートカットキーを定義できます。

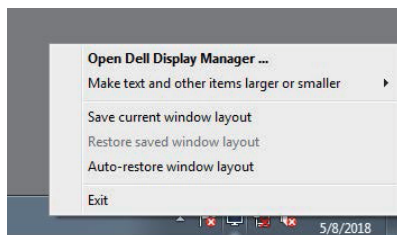


注意: DDMは、モニターが別のコンピュータからのビデオを表示しているときでも、あなたのモニターと通信しています。頻繁に使用するPCにDDMをインストールし、そこから入力切り替えをコントロールできます。モニターに接続されている他のPCにDDMをインストールすることもできます。

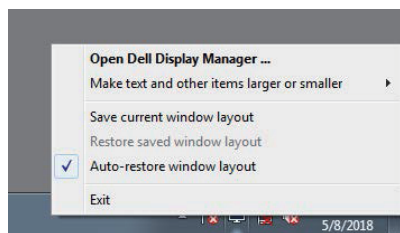


アプリケーション位置の復元

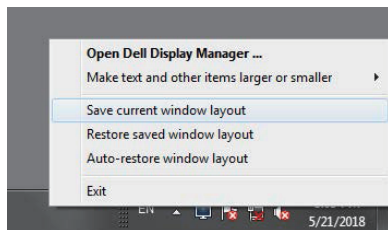
DDMにより、コンピュータをモニターに再接続するとき、アプリケーションウィンドウを所定の位置に復元できます。通知トレイのDDMアイコンを右クリックすることにより、この機能に素早くアクセスできます。



「**Auto-restore window layout (ウィンドウレイアウトの自動復元)**」を選択すると、DDMにより、アプリケーションウィンドウの位置が追跡・記憶されます。DDMは、PCをモニターに再接続するとき、アプリケーションウィンドウを元の位置に配置します。




アプリケーションウィンドウを移動させた後、お気に入りのレイアウトに戻りたい場合は、まず、「**Save current window layout (現在のウィンドウレイアウトを保存)**」を行い、後で、「**Restore saved window layout (保存されたウィンドウレイアウトを復元)**」を行うことができます。



日常業務において、異なるモデルまたは解像度のモニターを使用し、異なるウィンドウレイアウトをモニターに適用することができます。DDMIは、接続されるモニターを認識し、それに応じて、アプリケーション位置を復元できます。

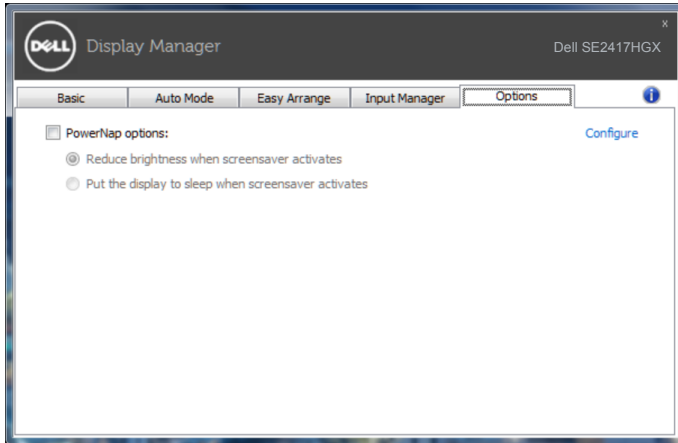
モニターマトリクス構成内のモニターを交換する必要がある場合、交換前にウィンドウレイアウトを保存し、新しいモニターを設置後、そのレイアウトを復元できます。

 **注意:** この機能を活用するために、アプリケーションを実行し続ける必要があります。DDMIは、アプリケーションを起動しません。



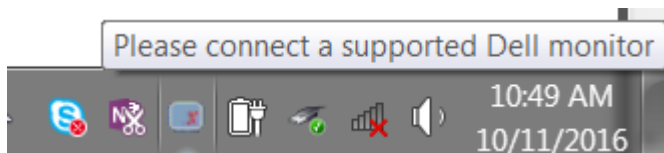
省エネルギー機能の適用

サポートされるDellモデルでは、PowerNap省エネルギーオプションを提供するために、**Options (オプション)** タブが利用できます。スクリーンセーバーが有効になると、モニターの輝度を自動的に最低レベルに設定したり、省電力のためモニターを休止状態にしたりすることができます。

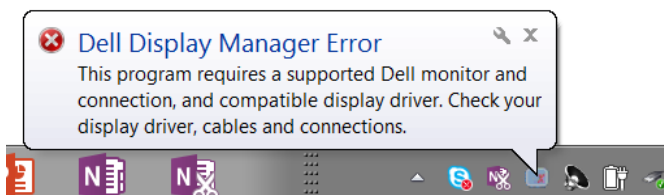


1. トラブルシューティング

DDMが、お使いのモニターと共に動作できない場合、DDMは、通知トレイに以下のアイコンを表示します。



アイコンをクリックすると、**DDM**が、より詳細なエラーメッセージを表示します。



DDMは、Dellブランドのモニターでのみ動作することに注意してください。他のメーカーからのモニターを使用している場合、DDMは、それらをサポートしません。

DDMが、サポートされるDellモニターを検出できない場合および/または通信できない場合は、トラブルシューティングを行うために以下のアクションを行ってください:

2. ビデオケーブルがモニターとコンピューターに適切に接続され、コネクタが所定の位置にしっかりと接続されていることを確認してください。
3. DDC/CIが有効であることを確認するために、モニターのOSDをチェックします。
4. 最新のグラフィックスドライバーをIntel、AMD、NVIDIAなどのメーカーからダウンロードし、インストールしてください。多くの場合、DDMは、最新のグラフィックスドライバーがないため不具合が発生します。
5. モニターとビデオポートとの間のドッキングステーション、延長ケーブルまたはアダプターを取り外します。一部の廉価なエクステンダー、ハブまたはコンバータは、適切にDDC/CIをサポートしていない可能性があり、DDM障害の原因となる場合があります。最新バージョンが利用可能な場合、そのようなデバイスのドライバを更新します。
6. コンピューターを再起動します。

DDMは、以下のモニターでは動作しない場合があります:

- 2013年以前のDellのモニターモデルおよびDシリーズのDellモニター。更なる情報については、Dell製品サポートウェブサイトをご参照ください



- Nvidia のベースの G 同期技術を使用するゲーミングモニター
- 仮想およびワイヤレスディスプレイは、DDC/CI をサポートしません
- DP1.2 搭載モニターの一部の初期モデルは、モニターの OSD を使用して、MST/DP1.2 を無効にする必要があるかもしれません

お使いのコンピューターがインターネットに接続されている場合、DDMアプリケーションの新しいバージョンが利用可能なときにメッセージが表示されます。最新のDDMアプリケーションをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

新しいバージョンが利用可能であるかどうかを確認するには：

1. キーボードに「Shift (シフト)」キーを押しながら、デスクトップ上の**DDM アイコン**を右クリックしてください。
2. **Check for new version... (新しいバージョンの確認...)** をクリックしてください

